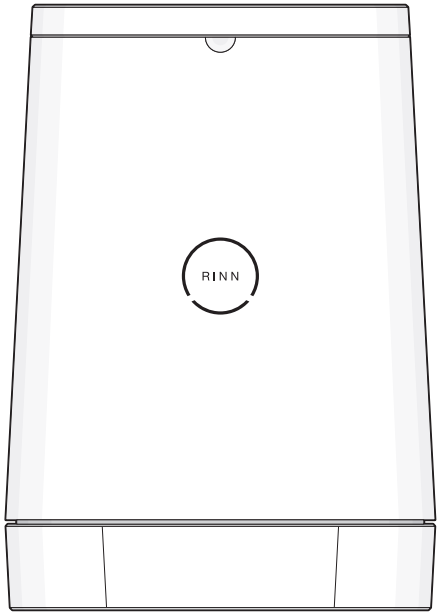
取扱説明書＋保証書

Manual + Warranty



PETLY

Automatic Pet Feeder

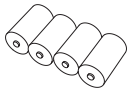
RINN

CE RoHS

使用前のご注意

乾電池は別売りです

PETLY のご使用に必要な乾電池は本商品に同梱されておりません。お手数ですが、お客様でご用意ください。マンガン乾電池や充電池は誤作動の原因になりますので使用しないでください。



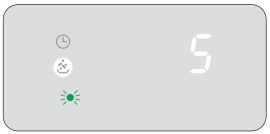
単 1 アルカリ乾電池 ×4

LED リングが光っている場合

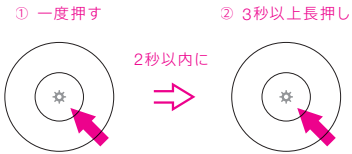
使用に影響が出る問題が発生した場合、本体中央の LED リングの光でお知らせします。
LED リングが光っている場合、本書 6 ページを参照の上、ご対応ください。

必ずテスト運転を行ってください

PETLY の給餌量を 5g に設定し、お使いのドライフードが実際に何 g 給餌されたか測定してください。その量を基準に必要な給餌回数・給餌量を算出してください。餌の種類・形状によって実際の給餌量が表示と異なる場合があります。

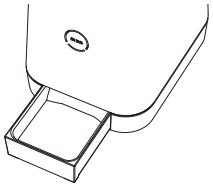


フードタンクにドライフードを入れたあと必ず手動給餌（設定ボタンを一度押した後 2 秒以内に、設定ボタンを 3 秒以上押し続け）を実施してください。手動給餌して供給された餌はフードタンクにお戻しいただき、お使いください。



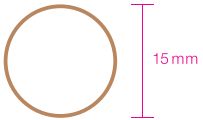
トレイの開閉は手動です

フードトレイは手動式です。自動開閉いたしません。PETLY を使用する際は必ずトレイを開いた状態でご利用ください。



ドライフードのサイズに注意

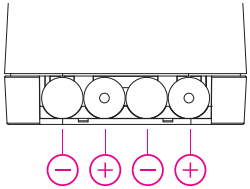
「大粒」表示のドライフードや、粒の一辺が15mm以上のドライフードは使用しないでください。餌づまりや故障の原因になります。



クイックスタートガイド

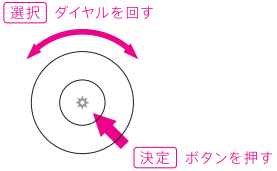
1 電池を入れる ⇨ P07

本体背面の電池ボックスを開け、単1アルカリ乾電池4本を下図の向きに入れてください。図の ⊕·⊖ は、手前から見える電極を示しています。



2 現在時刻を設定 ⇨ P09

本体背面の ⏻ ボタンを押し電源を入れてください。電源を入れると本体天面のLEDディスプレイが点滅しますので、設定ダイヤル·ボタンを使用し現在の時刻を設定してください。

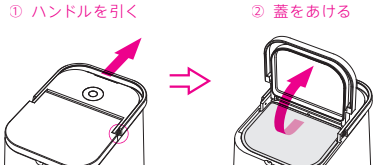


3 給餌量·時間を設定 ⇨ P10

給餌量·時刻の設定は、ダイヤルを回し アイコンを選択してください。
給餌量→給餌時刻の順番で設定します。
給餌回数は一日4回まで設定可能です。

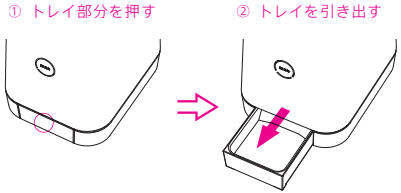
4 餌を充填 ⇨ P11

餌を充填する際は、ハンドルを引き、安全ロックを外した状態でふたを開けてください。本体の中にフードタンクが入っていることをご確認の上、ゆっくりと餌を充填してください。



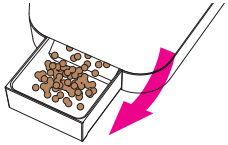
5 トレイを開ける

フードトレイは指で押し込むと飛び出します。自動開閉はいたしませんので、ご使用の際は必ず開けた状態にしてください。



6 給餌テストをする ⇨ P08

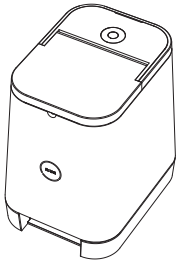
実際の使用を開始する前に、自動給餌または手動給餌にて正しく給餌されるかテスト運転を行ってください。餌が出ない場合、ドライフードの形状が適していない、または、本体内部に詰まっている可能性があります。



もくじ

使用前のご注意 01
クイックスタートガイド 02
もくじ 03
パッケージ内容 04
各部位の名称 05
LED リングの表示 06
通常時
電源：ON
電源：OFF
餌の残量低下
電池の残量低下
餌づまり
電池の入れ替え方法 07
本体の操作方法 08
電源の ON / OFF
手動で給餌する
現在時刻の設定方法 09
給餌量・時間の設定方法 10
餌の充填方法 11
お手入れ方法 12
フードトレイの取り外し方 / 取り付け方
フードタンクの取り外し方 / 取り付け方
警告事項 13
注意事項 14
保証について 15
保証書 17
カスタマーサポート 18

パッケージ内容

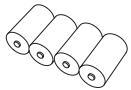


本体 ×1

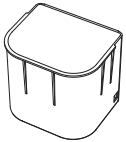
フードトレイ ×1

本体装着済 ／ 水洗い可

乾電池は別売りです

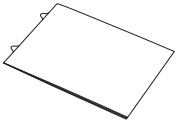


単 1 アルカリ乾電池 ×4



フードタンク ×1

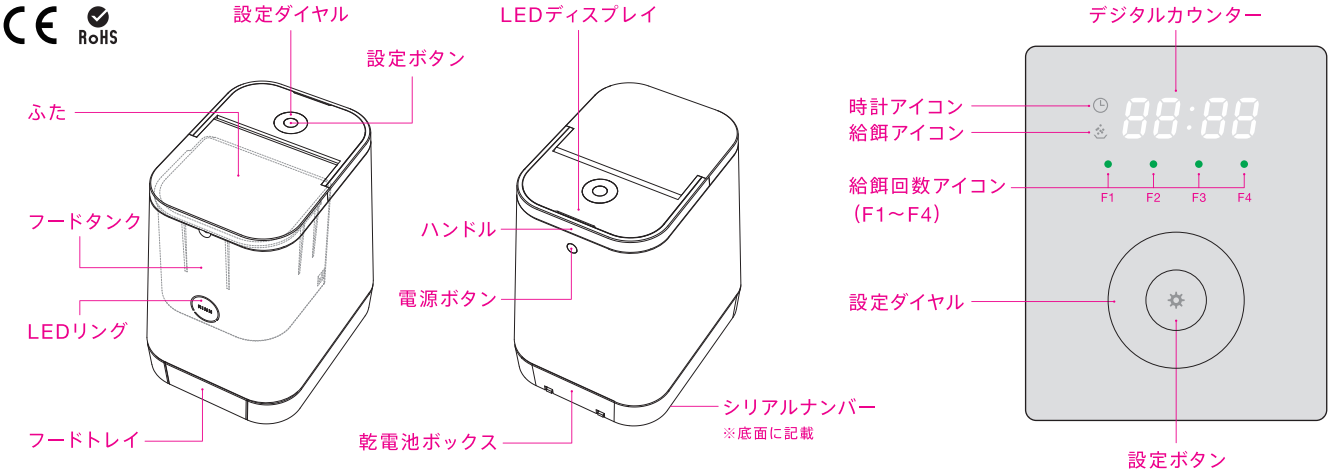
本体装着済 ／ 水洗い可



取扱説明書 兼 保証書 ×1

PETLY

各部位の名称



品名	PETLY
外寸法	幅 20 × 奥行 26 × 高さ 28.2cm
材質	本体 ： ABS　上蓋 ： PC 皿 ： PP
重量	2.2kg
電源	単1アルカリ乾電池 4 本　※別売り
製造基準	RoHS基準に準拠

生産地	日本
給餌設定	30分単位 最大4回（24時間リピート）
給餌量	5g～50g / 回（0g設定可）
タンク容量	約2L（ドライフード1kg相当）
時計表示	24時間表示

※ 仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

LED リングの表示

通常時	電源 ON	電源 OFF
光りません	白色に 2 回光ります	白色に 3 回点滅します

餌の残量低下	電池の残量低下	餌づまり
上部のみ黄色に光ります	下部のみ赤色に光ります	黄色に点滅します

餌の充填方法 ⇒ P11

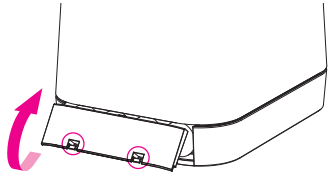
電池の入れ替え方法 ⇒ P07

餌づまりの対処方法 ⇒ P11

電池の入れ替え方法

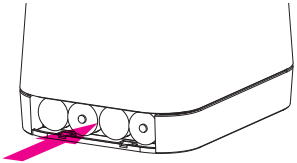
1 電池ボックスのふたを開ける

乾電池ボックスのふたの 2 箇所のツメを指で押しながら手前に引き上げてください。



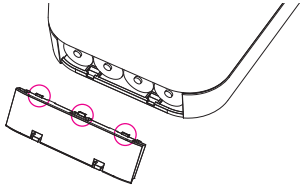
2 電池を入れ替える

新しい単 1 アルカリ乾電池 4 本を記載されている方向にしたがってセットします。

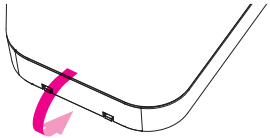


3 電池ボックスのふたを閉める

ふたの上部にある 3 つの突起部を本体に差し込んでください。

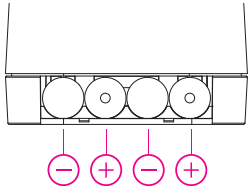


2箇所のツメが『カチッ』と鳴るまでしっかりとふたを閉めてください。



乾電池を入れる方向

乾電池ボックスを正面に見て、下記の図の向きにセットしてください。図の ⊕·⊖ は、手前から見える電極を示しています。



電池の交換後は時刻を再設定

電池を取り外すと、現在時刻がリセットされます。電池の交換後は必ず現在時刻を再度設定してください。

長期間不使用時は電池を外す

長期間使用しない場合は、電池を外して保管してください。電池の絶縁劣化により感電·漏電·火災·ケガの原因になります。

本体の操作方法

電源の ON / OFF

電源を入れる場合、切る場合は本体背面上部の電源ボタンを押してください。給餌設定がされている場合でも、電源を切ると作動しません。

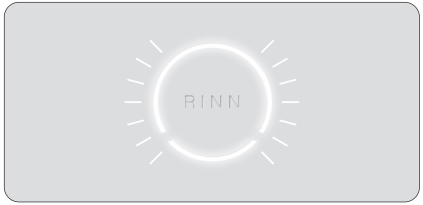
ボタンを押す

1 電源の ON

電源を入れると、LED リングが白色に 2 回光ります。

2 電源の OFF

電源を切ると、LED リングが白色に 3 回点滅します。



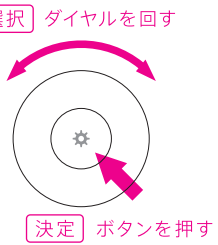
手動で給餌する場合

設定時間に関係なく給餌したい場合、設定ボタンを一度押した後、2秒以内に設定ボタンを3秒以上押し続けてください。
設定ボタンを押しているあいだ、餌が出続けます。

※ 一度の手動給餌で約50g排出すると自動的に停止します。

現在時刻の設定方法

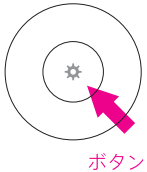
設定の方法



※ 20秒間何も操作しない状態が続くと通常画面に戻ります。

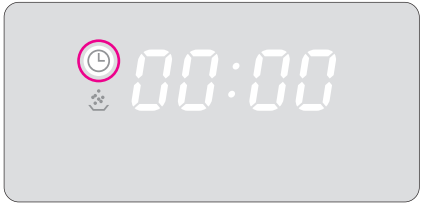
現在時刻の表示

現在時間は、通常時表示されません。確認する場合は設定ボタンを一度押してください。



1 ダイヤルを回し を選択

設定ダイヤルを回して のアイコンを選択してください。設定ボタンを押すと 2 に移行します。



2 時間を設定する

設定ダイヤルを回して 現在の時間を設定してください。設定ボタンを押すと 3 に移行します。

※ 0時～23時までの24時間表示です。

3 分を設定する

設定ダイヤルを回して現在の分を設定してください。設定ボタンを押すと点滅が消え、設定完了です。

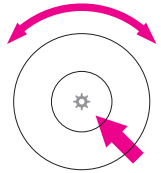
電池の交換後は時刻を再設定

電池を取り外すと、現在時刻がリセットされます。電池の交換後は必ず現在時刻を再度設定してください。

給餌量・時間の設定方法

設定の方法

選択 ダイヤルを回す



決定 ボタンを押す

※ 20秒間何も操作しない状態が続くと通常画面に戻ります。

給餌回数の表示

給餌量・時間が設定されている回には、給餌回数アイコン（F1〜F4）が緑色に点灯します。設定した回数分、正しく点灯しているかご確認ください。

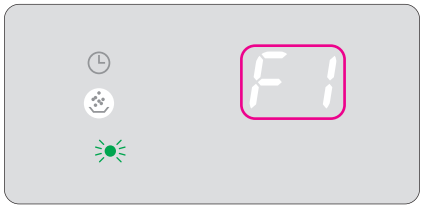
※ 給餌量0gに設定されている回は点灯しません。

1 ダイヤルを回し を選択

設定ダイヤルを回して のアイコンを選択してください。設定ボタンを押すと 2 に移行します。

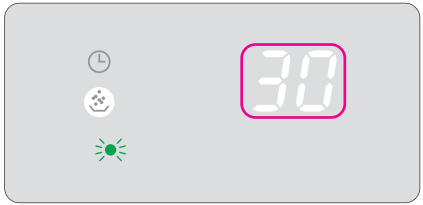
2 設定を行う給餌回を選択

設定ダイヤルを回して設定する給餌回（F1〜F4）を選択してください。設定ボタンを押すと 3 に移行します。



3 給餌量を設定する

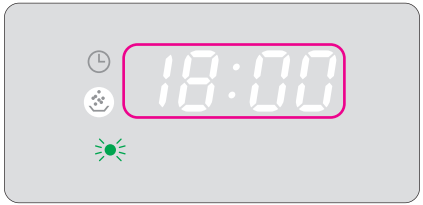
設定ダイヤルを回して 1 回の給餌量を設定してください。0g〜50g まで、5g 単位で設定可能です。
設定ボタンを押すと 4 に移行します。



※ 0gに設定するとその回の自動給餌は行われません。

4 時間を設定する

設定ダイヤルを回して給餌する時間を設定してください。設定ボタンを押すと点滅が消え、設定完了です。
2回め（F2）以降は①〜④の手順を繰り返してください。

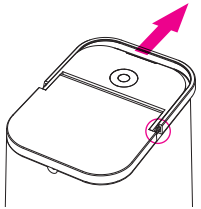


※ 00:00〜23:30まで30分毎に設定可能です。

餌の充填方法

1 ロックの解除

ハンドルを後方へ引き、ふたのロックを解除してください。

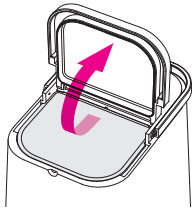


ドライフード以外での使用禁止

ドライフード以外の物（缶詰など）を入れないでください。故障の原因になります。

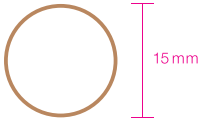
2 ふたを開ける

ふたを開け、本体内部にフードタンクが正しく入っていることを確認してください。



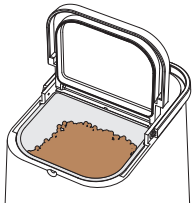
ドライフードのサイズに注意

「大粒」表示のドライフードや、粒の一辺が15mm以上のドライフードは使用しないでください。餌づまりや故障の原因になります。



3 餌を入れる

フードタンク内に、ゆっくりと餌を入れてください。ドライフード 1kg 程度が入ります。



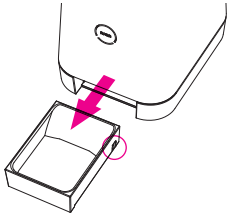
餌づまりの場合

餌づまりが起こった場合、お手入れをし、本体の汚れを乾いた布で優しく拭きとってください。お手入れ後は手動給餌をして動作に問題がないことを確認してください。LED リングの点滅は、電源をOFF にすることで解除されます。

お手入れ方法

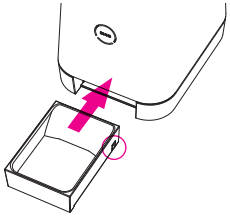
フードトレイの取り外し方

トレイのツメが外れるよう、持ち上げるようにしてゆっくり引き出してください。



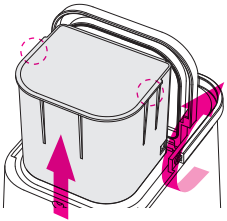
フードトレイの取り付け方

トレイのツメが引っかかるよう、持ち上げるようにしながらゆっくりと奥まで押し込んでください。



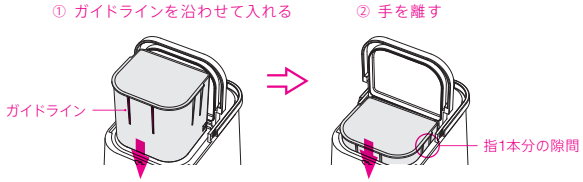
フードタンクの取り外し方

ふたを開け、タンクの両サイドをつまみ、真上に持ち上げて取り外してください。



フードタンクの取り付け方

タンク正面の 2 本のガイドラインを本体に沿わせて入れます。指 1 本分の隙間の位置まで入れたら手を離すと、自然に落下し取り付けが完了します。



お手入れの際は電池を取り外す

お手入れ・点検の際は安全のため電池を取り外してからおこなってください。

水洗い後は十分に乾燥させる

水洗い後は、本体装着前によく水気を拭き取ってください。水気が残ったまま装着すると、ショートや故障の原因になります。

定期的にお手入れをする

定期的なお手入れをお願いします。汚れたまま使用すると、餌づまりによる故障や、雑菌の繁殖の原因になります。

警告事項

動作確認をしてから使用する
本体の操作など、正常に動作することを確認してからご使用ください。動作を確認しないで使用すると、留守中にフードが出なかったり、餌詰まりなど、おもわぬトラブルの原因となります。

改造しない、また、修理技術者以外の人は分解したり修理しない
火災・感電・けがの原因になりますので、お客様による分解や修理・改造は危険ですのでしないでください。修理はお買いあげの販売店、又はRINNカスタマーサポートまでご相談ください。

作動中は動作部分に触れない
自動給餌中もしくは手動給餌中には、フードが排出される排出口ならびにフードタンクの内部には、絶対に手をいれないでください。けがの原因になります。

お手入れ・点検の際は、電池を外す
感電・けがの原因になります。

幼児の手の届く範囲で使用しない
感電やけが、ペットフードの誤飲などの事故につながります。

本体に金属など異物を差し込まない
ショート・感電・火災の原因になります。

所定のパーツ（フードトレイ・フードタンク）以外を水洗いしない
ショート・感電・火災の原因になります。水洗いしたパーツは、十分乾燥させて、取り付けてください。

屋外や浴室内など湿気の多い場所で使用しない
ショート・感電・火災の原因になります。

ペットにいたずらをさせない
本体を噛んだりすると、おもわぬけが・感電・火災の原因になります。本体で遊ばないよう、十分にしつけをしてご使用ください。

注意事項

小型犬·猫の自動給餌以外の目的には使用しない
PETLYは小型犬と猫専用に作られた自動給餌器です。中·大型犬や他の動物への給餌、その他の目的には使用しないでください。

必ずテスト運転を行なう
フードの形状によっては、給餌量に多少のバラツキがございますので、ご愛用のフードで1度計量頂き、必ずテスト運転を行ってからご利用ください。

給餌の際はフードトレイを開けて使用する
フードトレイを収納した状態では給餌することができません。

電池残量表示に注意する
電池残量表示が点灯したら、早めに電池を4本全て新しいものと交換してください。放置すると、急に作動が停止して、留守中にフードが出ないなどのトラブルの原因になります。

餌づまり表示に注意する
餌づまり表示が点灯したら、電源をOFFにし、フードタンクを清掃後、再度、電源ボタンをONにしてください。手動給餌にて正常に給餌されるか必ずご確認ください。

屋外や長時間直射日光のあたる場所·暖房機の近くに置かない
直射日光やストーブのような熱器具の近くなど、高温になるところに放置すると、変形·変質する恐れがあります。

不安定な場所に置かない
傾いたり、転倒し餌がこぼれるなど、誤作動の原因になります。

本体でペットに遊ばせない
本体に振動や衝撃を与えますと、故障の原因になりますので、本体で遊ばないよう、十分にしつけをしてご使用ください。

長期間使用しない場合は、電池を外す
絶縁劣化による感電·漏電·火災·けがの原因になります。

お手入れをしてから保管する
長期間使用しない場合は、乾電池やペットフードを全て取り出し、掃除をして、十分乾燥させてから保管してください。そのまま放置すると、カビ·異臭や故障の原因になります。

電池交換時は現在時刻を設定する
電池交換時は現在時刻だけリセットされますので、必ず現在時刻を設定してください。

保証について

1. ペット用自動給餌器 PETLY はドライフード専用です。
2. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って正常な使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
3. 保証書は修理の際に必要となります。大切に保管してください。
4. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と保証書をご持参、ご提示の上、RINN カスタマーサポートにご依頼ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   - ○ 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
   - ○ ドライフード以外のペットフードの使用による故障及び損傷。
   - ○ お買い上げ後の輸送、移動、落下による故障及び損傷。
   - ○ 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
   - ○ 保証書の提示がない場合。
   - ○ 保証書にお買い上げ年月日、お客様氏名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を作為的に書き替えられた場合。

修理のご相談

RINNカスタマーサポート

フリーダイヤル ： 0120-788-028　受付時間 平日10:00～17:00　休 土・日・祝

※携帯電話等、フリーダイヤルが使用できない場合 ： 03-6880-3180

メールアドレス ： tegami@rinn.co.jp

保証について

- この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
  従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後は、診断をして修理できる場合にはご要望により修理させて頂きます。
  修理料金は次のもので構成されています。

  ［部品代］　部品および補助構成材
  ［技術料］　診断、修理、調整、点検などの費用
  ［配送費］　故障した商品を宅配便でお引取りし、修理後の商品を宅配便でお届けする費用

- 保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、RINNカスタマーサポートにお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理・補修用性能部品の保有期間は、製造中止後３年間です。
- 有料、無料にかかわらず、商品の分解洗浄や消毒など修理に際して特別付帯作業が必要な場合は、
  別途作業料金をご請求させていただく場合がございます。
- お客様から頂いた個人情報は、この保証書において規定された修理その他のサービスのためにのみ使用させて頂き、
  お客様の承諾なく第三者に開示することはありません。ただし、サービスの全部または一部を第三者に委託する場合は、
  委託業務に必要な範囲内で、当該第三者に開示することがあります。
- PETLYは信用性や性能の向上、法令の変更などを理由として、このモデルまたは将来の製品の改良、仕様変更を
  予告無く行うことがあります。
- PETLY の修理のご依頼や、ご使用の際のご不明な点がありましたら、RINN カスタマーサポートへお問い合わせください。

お問い合わせ　株式会社RINN　〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1丁目17番1号 TOC第2ビル3階PoRTAL

保　証　書

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げ日から下記の期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、株式会社RINNに修理をご依頼ください。

品名	PETLY
保証期間	お買い上げ日より１年
保証対象部分	本体・フードトレイ・フードタンク
★お買い上げ日	年　月　日
★お客様氏名	
★販売店	お買い上げ店が発行した、販売店名・住所・電話番号記載の領収書を貼付け、保管してください。

見本

★印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。

RINNカスタマーサポート

フリーダイヤル

0120-788-028

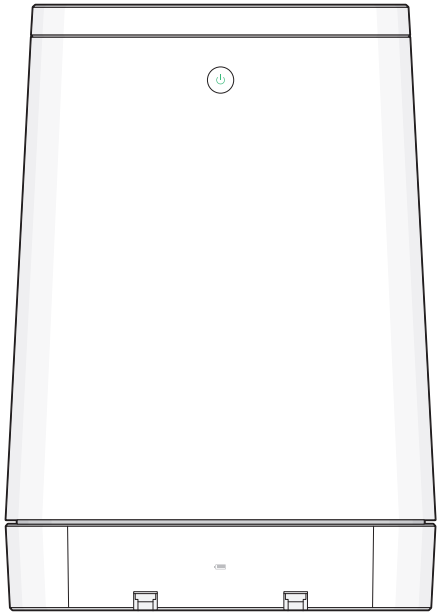
受付時間　平日 10:00 ～ 17:00　休 土・日・祝

携帯電話等、フリーダイヤルが使用できない場合は **03-6880-3180** よりお問い合わせください

メールアドレス　：　tegami@rinn.co.jp

RINNウェブサイト　：　http://rinn.co.jp

PETLYウェブサイト　：　http://petly.jp



RINN

PETLY — Designed by RINN Inc. in Tokyo. Made in Japan.
http://petly.jp

© 2014 - 2015 RINN Inc. All rights reserved. Printed in Japan.
http://rinn.co.jp